

# 放射性物質問題 — 土壌物理に求められること —

主催 土壤物理学会

後援 福島大学環境放射能研究所

日時 2013年10月26日(土) 9:10~17:00 (8:40受付開始)

場所 福島大学キャンパスM棟1階M-2教室

S棟1階S-14教室(ポスターセッション、企業展示他)

(<http://www.fukushima-u.ac.jp/new/18-koutu/>)

参加料3000円(講演要旨集代、ただし、学生会員は無料の予定)

シンポジウム終了後、生協食堂で情報交換会(会費別途徴収)を開催します。

シンポジウム 9:10~17:00 (途中 11:30~14:00は、総会およびポスターセッション)

- 1) シンポジウム「放射性物質問題—土壌物理に求められること—」開催の趣旨  
東京大学大学院農学生命科学研究科 溝口 勝(学会長)
- 2) 農地における放射性物質汚染の現状  
農業環境技術研究所研究コーディネーター 谷山一郎
- 3) 放射性セシウムはなぜ土壌にとどまるのか(仮題)  
農業環境技術研究所土壌環境部 山口紀子
- 4) 放射性物質汚染農地の効率的な表土剥ぎ取り工法の開発  
農業農村工学研究所農地基盤工学研究領域 若杉晃介、原口暢朗、
- 5) 森林における放射性セシウムの動態  
森林総合研究所立地環境研究領域 小林 政広
- 6) コロイド性物質の移動に伴うCsの移動(仮題)  
東京大学大学院農学生命科学研究科 西村 拓

ポスターセッション 12:30~14:00

A「土壌物理研究の最前線」および B「放射性物質と土壌物理」

企業展示

最新の計測機器やセンサなどの紹介や計測技術に関する情報交換

参加・発表申込み、見学会(10月27日  
9:00~16:00 飯舘村周辺)については、  
<https://js-soilphysics.com/conf>  
をご覧ください。

問い合わせ先

土壤物理学会事務局 大会担当 西村 拓  
〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1  
東京大学大学院農学生命科学研究科  
環境地水学研究室

TEL 03-5841-5351 or 5366、FAX 03-5841-8171